

授業科目 神経系治療学実習

【担当教員名】 高木 昭輝 ほか助手 2 名		対象学年	3	対象学科	理学
		開講時期	後 期	必修・選択	必修
		単位数	1 単位	時間数	3 0 時間
＜一般目標：G I O＞】 理学療法学が対象とする神経系障害を総合的に考え、神経生理学、神経学、理学療法の臨床の知を統合して治療計画を立て、。 学生同士で基本的なアプローチができる。					
＜行動目標：S B O＞ 1 基礎的な神経学的障害による運動障害について例を挙げて自分の身体で表現することができる。。 2 一般的な病的異常性について自分の身体で表現することができる。。 3 一般的な病的異常性への理学療法的アプローチを学生同士で行うことができる。 4 一般的な病的異常性について、効果的な代償的手段を学生同士で基本的なことを行うことができる。 5 神経学的障害に対して、広く社会参加、QOLの向上などを広範囲かつ柔軟に配慮し、それらを説明することができる。					
回数	授業計画又は学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	オリエンテーション				講義
2	神経学的障害の治療に対する理学療法的アプローチ 1 学生同士で体験する。			1	ビデオなどでモデル提示
3	神経学的障害の治療に対する理学療法的アプローチ 2 学生同士で体験する。			1	ビデオなどでモデル提示
4	治療技術の向上の基礎となる正常動作の解析 1 学生同士で体験する			2	ビデオなどでモデル提示
5	治療技術の向上の基礎となる性状動作の解析 2 学生同士で体験する。			2	教科書に沿った講義。ビデオなどでモデル提示。
6	神経心理学的問題と解決策 1 学生同士で協議し、発表する。			1, 2, 3, 4	ビデオなどでモデル提示。協議し個人が発表する。
7	神経心理学的問題と解決策 2 学生同士が協議する。			1, 2, 3, 4	ビデオなどでモデル提示。協議し個人が発表する。
8	神経疾患による機能障害に伴う異常な筋緊張と運動：治療を考える			1, 2, 3, 4	ビデオなどでモデル提示。協議し個人が発表する。
9	治療の一般原理 1 学生同士が体験する。			1, 2, 3, 4	ビデオなどでモデル提示。協議し個人が発表する。
10	治療の一般原理 2 学生同士が体験する。			1, 2, 3, 4	ビデオなどでモデル提示。協議し個人が発表する。
11	病 歴 模擬患者を用意したい。			1, 2, 3, 4	ビデオなどでモデル提示。協議し個人が発表する。
12	姿勢の管理と特殊なシーティング ビデオのモデルを模倣し学生同士で体験する。			2, 3	ビデオなどでモデル提示。協議し個人が発表する。
13	神経障害者管理における副子などの活用 モデルを模倣し学生同士で体験する。			2, 3	モデルを模倣し学生同士で体験する。
14	能力障害が残存または進行している症例の長期管理。モデル模倣			1, 2, 3, 4 5	モデルを模倣し学生同士で体験する。
15	期末試験				総括的試験
【使用図書】		＜書名＞ ＜著者名＞ ＜発行所＞ ＜発行年・価格・その他＞			
教科書		神経学的理学療法（問題点と解決法のポイント）：Dusan Edward著、真野行生監訳： 医歯薬出版：2001年：4000円+税			
参考書		神経系のリハビリテーション 多重感覚治療法：Shereen D. Farber著、平山義人、鷺田孝保監訳：協同医書：1987年 疼痛のとりえかた 理学療法MOOK 3 鈴木重行、黒川幸雄編集：三輪書店：1999年：3800円+税（予定）			
その他の資料					
【評価方法】 期末試験、授業貢献度、発表などを総合的に評価する。		【履修上の留意点】 授業に対して受身にならないでほしいと思います。			